

道史 教育編 構成概要

担当者	大項目	中項目	
大矢一人	占領下の教育改革	戦時体制下の教育、国民学校、教育体制など 進駐、軍政と指令、追放、教育の民主化 教育基本法の制定、新しい教育法体系 終戦後の学校教育の状況、墨塗教科書、	
辻村貴洋	教育行財政 教育計画	教育行政改革、教育委員会制度の発足・改変、教育委員会法・公選制下の教育委員会の実際、地教行法以降の状況、近年の改革・総合教育会議 教育財政制度、義務教育費国庫負担金制度等 教職員・管理職、教育公務員特例法、人事、免許・養成・教育大・北大他 学習指導要領、教科書 北海道長期教育計画、市町村の教育計画、道立・市町村立教育研究所	
横井敏郎	教職員団体・運動、 教育政治、指導行政	教職員組合発足、組合運動の展開、勤評闘争、主任制、教員人事紛争、学テ、組合の分裂 校長会、教育関係団体、指導行政・指導主事 46協定とその破棄、教育政治構造の変化	
坂本紀子 大矢一人	学校教育	小学校・中学校 小学校・中学校(私立)	国民学校から633制へ、学校教育法、生徒数・学校数、学校の整備・配置、再編、小中一貫 教育課程・内容、各教科教育、特別活動・部活、道徳、図書、視聴覚、自由研究、教科教育研究団体、給食、校舎建築、部活
三上敦史	学校教育	高校 私立学校	進学率、学区、高校入試、学科、定・通・単位制、市町村立高校、就職・進学、高校改革、統廃合、中高一貫、男女共学、学校運営・自治・PTA・生徒会 道内設立状況、教育の特徴、私学助成・学校経営
川前あゆみ	学校教育	へき地教育	へき地教育制度、へき地校分布、教職員配置、複式学級、へき地教育実践の発展と課題、山村留学
藤根 収	学校教育	障がい児教育	戦後特殊教育制度、障害児数・状況、養護学校・高等養護学校・寄宿舎配置、特殊学級、盲聾肢体不自由教育、病弱教育等の整備と実践 就学猶予・免除制度と実態、教育団体・訴訟、特別支援教育、通級制度
安宅仁人	学校教育	教育問題、教育運動 高等専門学校	不登校、いじめ、体罰、格差・貧困、外国人の子ども、フリースクール、オルタナティブスクール、朝鮮学校、インターナショナルスクール、自主夜間 中、子どもの権利条例、民間教育団体、学習塾・家庭教師・教育産業・・・ 高専制度発足、道内設立状況、入学者動向、教育の特徴と変遷
光本滋	高等教育	大学 短大	新制大学の発足、学生数・学校数、国立・公立・私学の設置・整備、再編、大学紛争 教育課程・内容、教育変化、少子化、短大から四大化、統廃合、再編期の紛争
上原慎一	職業・専門教育 進路・就職	実業学校、青年学校から戦後職業教育へ、各種学校、専修学校、専門学校、職業大学校、道立高等技専 道内産業の状況、中卒・高卒者の進路、就職状況、専門・短大・四大の進学と就職の状況、企業内教育・人材育成	
辻智子 (委員追加の予定)	社会教育行政・職員 公民館・成人教育 生涯学習政策 成人教育 図書館・情報 博物館・文化財	戦後社会教育の出発(公民館、公民教育、公明選挙運動、小集団、社会教育法)社会教育行政の成立と展開、社会教育主事・専門職養成、社会教育委員 公民館、公民館主事、公民館運営審議会、講座・学級・教室、家庭教育学級、PTA、新生活運動(→経済へ?)、高齢者、産業教育 生涯学習政策、生涯学習事業、民間教育産業 婦人団体、活動 高齢者団体、活動 図書館、文庫、移動図書館、絵本、視聴覚、生涯学習情報センター 歴史、郷土資料、民族、民俗、文化財、発掘、美術、自然科学、動物、水族館、学芸員、友の会、ボランティア	
稲井智義	就学前教育・保育 子育て 児童福祉	幼稚園 保育所	学校教育法、児童福祉法、幼稚園・保育所二元制度、保育・幼稚園教育要領、生徒数・学校数、幼稚園・保育所の整備・配置 幼稚園教諭・保育士養成、保育所増設運動、待機児童、幼保一元化、認定こども園の導入、保育所・幼稚園等の教育実践・教育課題など 子育て支援行政の動向、少子化対策 学童保育? 児童福祉行政の成立、要保護児童・浮浪児、貧困、長期欠席 児童相談所、虐待
二井仁美	少年司法福祉	少年法、少年保護法制、少年院等の保護施設・児童自立支援施設、家庭学校、少年非行、犯罪の動向、保護司・支援制度・実践	